

## 2018年度 事業計画（骨子）

### 1 方針

法人の経営基盤（特に組織、財務基盤）を確立すると同時に、事業を通じ「一般社団法人災害防止研究所」及び「まあるい日本プロジェクト」に対する社会的認知を獲得する。

2018年度、法人会員数100社獲得を目標とする。

### 2 重視事業

- (1) 防災・危機管理認証制度
- (2) 阪急阪神百貨店における「防災の日イベント」
- (3) 「強くなろうニッポン！キャンペーン」
- (4) 基幹本出版（予定）  
（株）ワールドフォトプレス社（monoマガジン）と連携して発刊
- (5) ホームページ活動
- (6) 会員向けの季刊誌発行準備

### 3 事業運営の考え方

- (1) 研究所事業は、研究所が主催する事業、パートナー企業が主催する事業、その他の事業に区分し、社会貢献活動の一環として実施する。
- (2) 研究所事業は、正会員によって運営する。
  - ア 事業運営に必要と判断された者は、この限りではない。
  - イ 細部の運営要領は、必要の都度、定める。
- (3) パートナー企業が主催する事業は、担当パートナー企業等の独立採算により実施する。必要に応じ、プロジェクトチームにより、企画、運営する。プロジェクトチームには、代表理事他が参加する。
- (4) 研究所を通じてパートナー企業に発注のあった事業は、研究所事業として取り扱う。

### 4 事務局等

- (1) 事務局に必要最小限の者を常勤させる。

- (2) 事業企画への参画は、ボランティアとする。

## 5 事業

### (1) 認証制度

#### ア 防災・危機管理認証制度

防災普及活動の中核事業と位置付け、「防災を焦点とした危機管理の基本的考え方、災害対処の基礎的ノウハウを普及し、個人の防災能力向上を通じて、企業等の災害レジリエンス強化に貢献する」ことを目的とする。

#### イ 商品認証等

- (ア) 「ローリングストックを社会的に定着させること」及び「安全安心で質の高い生活・暮らしの実現に貢献する」ことを目的とする。
- (イ) 研究所の安定的活動の財務基盤を形成する事業と位置付ける。

#### ウ ドローンの災害時運用認証制度

「被災地における救急救命活動ドローンの運用資格の認定制度を設け、災害時の救急救命活動の円滑な実施に資する」ことを目的とする。

### (2) 阪急阪神百貨店における防災の日イベント

災害防止研究所のオープニング事業として、防災の日（9月1日）に、ローリングストックをテーマとした防災イベントを開催する。

### (3) 強くなろうニッポン！キャンペーン

企業と連携して生活・暮らしに災害防止活動を普及する中核事業と位置付け、ブランド企業に防災をテーマとした社会貢献活動（CSR）の実施を働きかけ、来年度9月以降、1年間を目途に、ローリングストックをテーマとした隔月のキャンペーンをシリーズで開催する。

### (4) 基幹本出版

- ア 「強くなろうニッポン！キャンペーン」と連携し、(株)ワールドフォトプレス社（mono マガジン）から、発刊を予定する。
- イ 防災（家庭の安全保障）に焦点を当てた、災害防止研究所の顔となる基幹本を出版する。

### (5) ホームページ活動

災害防止活動を普及する情報発信、広報ツールとして、ホームページ活動を充実する。(株)ワールドフォトプレス社（mono マガジン）との連携を重視する。

**(6) 会員向けの季刊誌発行準備**

会員への魅力作りと広報ツールとして、会員向けの季刊誌を発行（2020年度）するための準備に着手する。

**(7) 経営セミナー等**

企業と連携し、防災・危機管理認証セミナーを実施する。

**(8) 研究**

ア コラム記事をホームページに掲載する。

イ 専門的内容は、専門誌（紙）へ投稿する。

**6 統制・調整事項**

**(1) 役員**

現理事の任期は、2020年7月31日までとする。

**(2) 会員名簿等**

ア 会員（個人会員、法人会員、公共会員、特別会員）名は、ホームページに、加入月日順に一律の文字の大きさを公開する。

イ 正会員名は非公開とする。

ウ 定款に基づき、社員名簿（氏名、住所）は事務所に備え置く。

**(3) 運営関連**

ア 当初年度の事業期間は2018年8月1日～2019年7月31日とする。

イ 毎事業年度開始前に、社員総会を開催し、事業計画及び終始予算の承認を得る。

ウ 正会員のうち理事及び事務局員は、毎月1回、定例の役員・事務局運営会議を開催する。

エ 事務局は、期毎に、業務予定表を作成する。

以上